



レックスに陥る方もいるようです。

このことがあつてから、時に私は、わざと東北弁で話し、周囲の反応を楽しむこともあります。

故郷のなまりは、心の故郷そのものです。

## 運転免許返納とその後

埼玉県戸田市 栗原ハツ江（79歳）

新聞やテレビで高齢者の車の事故について見たり聞いたりすると、不安を覚えるようになりました。

自分は大丈夫と思つていても、急な判断ができない場合があると思います。

数年前から運転免許証を返納しようと考えていました。運転免許を取つたのは23歳の7月で、あれから半世紀と少し。その頃はルールなど、いろいろな面で今ほど厳しくなかつたような気がします。

若い時は何も考えず便利に乗っていました。最近では私が運転していることを娘夫婦が心配しています。

確かに自分でも分かっていますが、暑いから寒いから、少し遠かろう、帰りの荷物が多

かろうと理由をつけて乗っていました。

車は便利ですが一歩間違えれば大きな事故になります。事故が起きてからでは遅いのです。十分分かつています。

少し寂しい気もしますが返納することに決めました。すると普段通っている同じ道ですが、車のときは運転に集中、自転車のはその日の天気を含め景色を眺め、歩いているときは足元に咲いている花を見ながらゆっくり通つていきます。

車のない生活に慣れるのに1か月くらいはかかると思いますが、歩くことは体にも良いと聞いています。これからは歩くことを習慣にして、車がなくても楽しく過ごしたいと思

## 目標は魂の人

兵庫県南あわじ市 小川千富（61歳）

南あわじ市SCに入会してまだ2年目ですが、仕事をただで本当に感謝しています。今回は家族のことを少し書きます。認知症

の母はリハビリ通いをやめ、父は一日寝ている、食事の時だけ顔を出したり、用を足した

りするくらいですが、ひげそりは電気シェーバーを嫌がるので、カットが大変です。

一人息子の就職先が心配でしたが、国立大学に研究職として就職できることになりました。皆さまに感謝いたします。

息子が小学4年生の時に少年野球をやめ、「僕は塾に行きたい」と言い切った心。そして、参観日に友達から「おまえのお母さん、顎出ている」と笑われて、いじめられたというのを、私には高校生になつてけんかをした時にただ一言、漏らしただけの強い心を忘れません。

親の介護も大変ですが、一生懸命に働いてもらったことで今の自分がありますし、怒ることもありますが、息子もやつと就職が決まりましたので、この受け継いだ力をまた、子孫までつなげていけるような「魂の人」になりたいです。

仕事も2か所で行っています。不調な時もあります。仲間が手伝ってくれるので、いつもありがたく思うことばかりです。仕事にも、もつともつと魂を入れて働いていきたいと思

います。これから日本がどうなるか不安ですが、いつも挑戦です。